

第42回 北本市議会報告会（南部公民館）

日 時	令和6年10月26日（土）午前9時30分～11時30分
会 場	南部公民館
参加者	市民10人、議員18人
出席議員	金森 すみ子、毛呂 一夫、小久保 博雅、斉藤 章、永井 司、青野 康子、 工藤 日出夫、大嶋 達巳、村田 裕子、桜井 卓、諏訪 幸男、岡村 有正、 湯沢 美恵、中村 洋子、今関 公美、島野 和夫、現王園 孝昭、滝瀬 光一 (議席番号順)
次 第	<p>1 開会 大嶋広報広聴委員長 第42回北本市議会報告会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>2 挨拶 滝瀬議長 9月定例会の説明、質疑、意見交換になっています。最後までご協力の程よろしくお願いいたします。</p> <p>3 議会報告会の進め方について 大嶋広報広聴委員長 第1部は、定例会の報告になり各委員長から報告があります。 続きまして、報告した内容についての質疑を受けます。 その後、第2部で意見交換会を行います。ご質問、ご意見を聞いていきたいと思ひます。</p> <p>4 【第1部】定例会の報告 (1) 令和6年第3回定例会の報告 ア 先議議案等の審議概要 岡村議会運営委員長 イ 委員会付託議案の審議概要 ・ 予算決算常任委員会の審議概要 現王園予算決算常任委員長 小久保予算決算常任副委員長 ・ 総務文教常任委員会の審議概要 諏訪総務文教常任委員長 ・ 健康福祉常任委員会の審議概要 金森健康福祉常任委員長 ・ 建設経済常任委員会の審議概要 村田建設経済常任委員長 各常任委員会とも委員長報告を基に説明 (2) 質疑応答 ・ 質問者4人</p> <p>5 【第2部】意見交換会 ・ 質問者7人</p> <p>6 閉会 大嶋広報広聴委員長</p>

質 疑 応 答 及 び 意 見 交 換

司 会 湯沢広報広聴副委員長

質疑応答及び意見交換の概要

【第1部】質疑応答

1人目

- Q. 滞納繰越分調定額の齟齬について、傍聴していても経過が全く分からなかった。教えていただきたい。
- A. (島野) 監査に対し、7月26日に総務部長と税務課長より報告がありました。その中で令和6年度に是正する旨の説明を受けました。令和5年度時点では決算は適正であり、令和6年度決算にて触れなければならないと認識しています。
- Q. 野球場のスコアボードに1億5千万円かける必要性の有無について、審議されたのか。
- A. (村田) 今年度の決算対象ではないため、実施した事業内容に対する審議はしていません。
- A. (滝瀬) 材料のケーブル不足により工期が遅れ、令和6年度へ繰越されたためです。
- Q. 滞納繰越分調定額の齟齬について、全員協議会にて代表監査委員からの説明が非公開だったのはなぜか。
- A. (滝瀬) 議員への説明は全員協議会では行っておらず、公開の場ではありません。

2人目

- Q. マイナンバーカードの健康保険証への紐づけをやめることはできるのか。
- A. (金森) 解除できます。
- Q. バスの本数が4割減ったのにもかかわらず公共バスへの補助金が300万円増えることに対しての妥当性は審議されたのか。
- A. (村田) 事業者からの強い要望による赤字補填の補助金300万円増額についての審議において、本数減に対する補助金増の妥当性についての具体的な質疑はありませんでした。

3人目

- Q. 議会だより6ページにある健康福祉分科会長報告にある3点の質疑はどのように選定されているのか。例えば障害児通所支援が挙げられているが、利用人数が増えたことを問題として捉えているのか。
- A. (大嶋) 紙面の都合上選別しています。質疑については、議員それぞれの視点で行っています。
- A. (岡村) 自分の場合、各事務事業評価が8月頃にホームページに出ますので、それを分析し質疑しています。
- Q. (桜井議員は) 決算審議の際、数字だけを見ているのか。岡村議員と質疑の仕方が違うが。
- A. (桜井) 数字だけ見ているわけではありません。議事録を見てください。

4人目

- Q. 障害児通所支援の利用人数が増えたことから、事業所や補助金を増やす必要性があると捉えているのか。
- A. (桜井) 今回の決算結果を踏まえて、令和7年度予算の際に考慮します。決算審査については決算の数字の事実確認をしています。

【第2部】意見交換

1人目

- Q. 3月議会の議会報告会の際、採択された請願のその後の扱いについて議会で問い合わせることだったが、その進捗状況は。
- A. (滝瀬) 過去5年間に採択された請願への対応詳細を執行部に提出してもらい、各委員長に渡しました。その情報等詳細は公開していません。
(※「過去5年間」ではなく「過去3年間」の誤りでした。お詫びして訂正します。)
- Q. 議会で採決の際、退席される方の理由を知りたい。
- A. (岡村) 自分の場合、議員個人では賛成の意思であったが会派で反対の立場を表明する必要があった際に退席しました。退席は議員個人の判断です。
- A. (工藤) 議決権には賛成か反対の二つしかありませんが、賛成も反対もできない場合に退席します。
- A. (湯沢) 退席の理由は議員本人に確認した方が良いと思います。

2人目

- Q. 議会だよりの採決結果の○が無くなり見づらくなった。なぜ変えたのか。
- A. (大嶋) 見づらいというご意見があったため、今回は○を表示しませんでした。今後の検討課題とします。
- Q. 島野議員が決算認定の際、退席した理由を知りたい。
- A. (湯沢) 島野議員本人に直接聞いてください。
- Q. 議会だよりに滞納繰越調定額に齟齬があった旨の記載がされていない。
- A. (大嶋) 紙面の都合上載せていませんが、各議員が討論の中で述べている記述はあります。

3人目

- Q. 予算の際、子どもの権利擁護委員の仕事内容・質を把握して報酬を決めているのか。
4つの業務が条例で定められているが、アンケートでは誠意のない対応が伺える。
現況の20万4千円の月額は妥当か。日額1万5千円で換算すると年間250万円程度削減できるが。
- A. (諏訪) その点の質疑はありませんでしたが、私個人としても疑問がありましたので担当課で確認しました。もう一度確認します。

4人目

- Q. 公民館の使用料が来年4月に値上げされ、値上げ幅が3～4倍になる箇所もある。合理化してから値上げしてほしい。値上げするなら最低限エアコン等の設備投資をしてほしい。
- A. (諏訪) 公平性の観点からの値上げです。(傾向として) 会議室では下がり、体育室では上がります。全体としては若干の値上げとなります。

5人目

- Q. 議場で退席するのはなぜか。請願を提出し本会議場で傍聴していたが不愉快だった。
- Q. 本会議で代表者以外の討論や発言がないのはなぜか。
- A. (湯沢) 一般的な議論を交わすのと議場での討論とは形式的に異なります。代表者以外が討論することができないわけではないです。
- A. (岡村) 議場だけでなく委員会で質疑し議論しています。

6人目

- Q. JR北本駅東口の屋根掛け計画により時計がなくなったが、時計を付けた方が良いのでは。
- A. (湯沢) ご意見賜ります。
- Q. 令和6年度より費用弁償が廃止されたがその理由は何か。その理由を記録に残してほしい。
- A. (岡村) 交通費の意味合いがある費用弁償日額2千円の妥当性を議員全員で協議しました。
- A. (滝瀬) 狭い市域の中で交通費の別途支給は不要と考え、費用弁償は廃止しました。議論は代表者会議で記録していますが、代表者会議の公開についてはこの場でお答えできません。今後協議します。

7人目

- Q. 議会を傍聴した際、原稿を読むため下を向いて発言している議員がいて聞きづらい。
- A. (湯沢) ご意見賜ります。

アンケート結果（回答2件）

問1 お住いの地域：西高尾2人

問2 年代：70歳代1人

問3 報告会の開催を何から知ったか（複数回答可）

市議会ホームページ1人、ポスター1人、チラシ1人、その他1人

問4 どこで開催した方が良いと思うか

回答なし

問5 意見・要望

- ・報告会の他に定期的に相談会等市民と気軽に話ができる場を設けてほしい。
- ・地方議会は政党政治ではないので、市民のために一丸となって政策実現に力を尽くしてほしい。
- ・工夫はしていると感じられるが参加者が少ない。なぜ少ないのかデータを示して分析してほしい。（仮説：①議会への信頼、②つまらない、③政治への関心が薄い）
- ・「調べます」等の返答をされた場合、調べた結果を公表すべき。